



笑顔あふれる泉大津市!!

笑顔でこどもがのびのび遊べる広場を！
笑顔で挨拶が飛び交う町を！
笑顔でみんなが助け合う町を！

泉大津市の財政状況について出前講座実施！！

市民の皆さんに、本市の置かれた状況をより知っていただくべく、平成21年度決算に基づき、現在の市の取組内容をご紹介するとともに、今後の課題・見通し等についての意見交換を行う出前講座が下記の通り泉大津市財政課行政改革推進室より開催されます。奮ってご参加下さい。

- 平成22年10月21日（木）→ 穴師小学校体育館
- 平成22年10月27日（水）→ 市民会館小ホール
- 平成22年10月28日（木）→ 上條小学校体育館

※開催時間は各会場とも午後7時～9時まで。申込み不要、参加自由
※浜校区の方は10月27日（水）が近場でよろしいかと存じます。

林哲二、市政報告会開催

☆平成22年11月2日（火） 午後7時30分～9時まで

松之浜長寿園にて、林より、市政報告会を開催させていただきます。
どなた様でもお気軽にお越し下さい。

第三回定例議会 一般質問から

今回の一般質問では、『自殺対策について』質問しました

自殺の現状

世界保健機関（WHO）が制定している世界自殺予防デーが九月一〇日にあたることから、今回この問題を取り上げてみました。日本全国の自殺者数は、平成一〇年より一二年連続して三万人を超えています。

平成二一年の自殺者総数で見ると、三二、八四五人であり、一日あたりに置き換えると、毎日約九〇名も日本のどこかで自殺している計算になります。これに対し、平成二一年の交通事故死者総数は四、九一四人であり、一日あたり約一三人が交通事故で亡くなっております。実に自殺者数というのは交通事故死者数の約六、七倍もあるという計算になります。いかにか自殺者が多いかという事が、この数字からも読み取れるかと思えます。

国際比較

世界保健機関（WHO）の自殺統計をみると、対象国一〇三ヶ国の中で、日本の自殺率（人口

一〇万人当たりの死亡者数）はベラルーシ・リトアニア・ロシア・カザフスタン・ハンガリーに次ぐ第六位の自殺率の高さとなっている。しかも日本より上位の国は、いずれも国内の混乱が続く体制移行国だけに、日本の自殺率の高さは異常な値といわざるを得ません。

また、米国・英国・ドイツ・フランス・オランダ・スウェーデン・イタリア・カナダなどの欧米先進国や、オーストラリア・韓国・中国との間で比較すると日本は先進国の中では世界一の自殺率となっています。

長引く不況の日本

長引く不況にあえぐ我が国。国の健康度を示す基本数値として①一人当たりGDP（国内総生産）②自殺者数③財政赤字の指標をあげておられる大学教授もおられます。最近の日本はこの三つとも異常値となっております。ますます悪化しています。やはり長引く不況は、社会不安をますますあおり、そして、個人の自由な意志や選択よりも、社会的な重圧により、心理的に追い込まれた末の自殺が増えることも紛れもない事実です。

年齢別の死亡原因

日本全体の死亡原因をみますと、トップは断然、ガンとなります。昭和五六年以降三〇年間、不動の一位です。しかし、この死亡原因を年齢別にみても、二〇代・三〇代での死亡原因は圧倒的に自殺がトップとなります。又、一〇代でも一五才以上はやはり自殺がトップで、四〇代前半でも男性に限れば、やはり自殺がトップです。四〇代後半では自殺は死亡原因の二位。五〇代では三位となっております。

更に、自殺の原因・動機についてみると、一〇代では学校での問題、二〇・三〇代では健康問題、四〇・五〇代では経済的・生活問題となっており、特に働き盛りの管理職にかかる不況による社会的要因は大きな問題となっております。

自殺は防ぐことができる

世界保健機関（WHO）では『自殺は、その多くを防ぐことができる社会的な問題』と明言しています。

経済・生活問題、健康問題、家庭問題等自殺の背景・原因となる様々な要因のうち、失業、倒産、多重債務、長時間労働等の社会的要因については、制度、慣行の見直しや相談・支援体制の整備という社会的な取組によ

り自殺を防ぐことが可能であるということですが。また、健康問題や家庭問題でも専門家への相談やうつ病等の治療について社会的な支援の手を差し伸べる事により防ぐことが可能であります。

実際、私は今回いろいろ調べる中で、白浜レスキューネットワーク理事長の藤敷さんという方のお話を聞く機会があり、過去、何百人もの人に手を差し伸べて自殺から救って来た話をお聞きし、頭が下がるおもいでした。そして、彼が最後に言った言葉『私らのやっている事は、所詮バンソウコウ貼りではない。大人になって自殺を考へる人は、必ずどういふ人生を歩んできたかという背景によって原因が決まっている。やはり根本は、小さい頃からの愛情こもった、教育・子育てが最も大事である』まさに同感！

だから私は、泉大津市の未来の為に、子供達とこれから関わって行こうと決意新たにしました。

